



# Japan Beverage Report 2014



人に、街に、地球にうるおいを



# CONTENTS

Japan Beverage Report 2014

## 01 編集方針

## 02 ジャパンビバレッジグループの概要

## 03 トップメッセージ

## 05 ジャパンビバレッジグループの事業紹介

## 07 **Highlight 1** ジャパンビバレッジの省エネは、「人」が支えます

## 09 **Highlight 2** 再資源化の「先」を 考えています

## 11 **Highlight 3** リサイクル事業を通じて、 気づき、考え、行動する —そんな子どもを育てたい

## 13 **Highlight 4** 地域に根ざし、 地域とともに歩みます

## 15 **Highlight 5** 企業連携ネットワークを 大切にします

## 16 環境マネジメント & パフォーマンス報告

## 18 第三者意見

## 編集方針

本レポートは、ジャパンビバレッジグループの理念と事業の現状、および環境の取組みを紹介する会社案内と環境報告書の役割を果たします。ステークホルダーの皆様に分かりやすくお伝えすることを目的に発行しています。

### ● 参考ガイドライン

環境報告ガイドライン2012年版

### ● 報告対象範囲

ジャパンビバレッジグループ

※環境報告データの対象範囲が異なる場合は、範囲を別途記載しています。

### ● 報告対象期間

2013年4月1日～2014年3月31日

※一部、対象期間外の取組みも紹介しています。

### ● 発行

2014年9月(次回2015年8月予定)



# ジャパンビバレッジグループの概要

## ジャパンビバレッジホールディングスの事業概要

社名 株式会社ジャパンビバレッジホールディングス  
 本社 東京都新宿区西新宿一丁目24番1号 エステック情報ビル  
 創業 1958年7月 ※組織改編に伴い、2010年7月ジャパンビバレッジホールディングスを設立  
 資本金 5億円  
 事業内容 グループ全体の経営戦略の策定・推進  
 自動販売機による各種食品飲料の販売



## ジャパンビバレッジグループ



編集方針  
 ジャパンビバレッジグループの概要  
 トップメッセージ  
 ジャパンビバレッジグループの事業紹介  
 Highlight 1  
 Highlight 2  
 Highlight 3  
 Highlight 4  
 Highlight 5  
 パフォーマンスレポート  
 環境マネジメント  
 第三者意見

## “循環型産業”の構築を積極的に目指します

### 自動販売機専門オペレーターNo.1企業として

ジャパンビバレッジグループは1958年の創業以来、自動販売機専門オペレーターとして、魅力ある商品と最高のサービスを通じて皆様にうるおいを提供し、喜びに満ちた空間と出逢いを創造する事を理念に、事業活動を続けてまいりました。

この間、紙カップ式自動販売機事業に始まり、紙パックによる乳類販売、缶やペットボトルでの清涼飲料販売とお客様のご要望に応えるべく、各種自動販売機を取り揃えてまいりました。また多様化するオフィスへの対応として、小型自動販売機や給茶機を自社開発し、多くの方々にご支持いただいております。

日頃より自動販売機をご利用いただいている皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

### 「環境」への取組みもNo.1でありたい

ジャパンビバレッジグループは、全国で約23万台の自動販売機を運営しております。これは、自動販売機専門オペレーターとして国内No.1の稼働台数です。この自動販売機で飲料を提供するためには、必要不可欠なエネルギーが2つあります。1つは、自動販売機の稼働電力、そしてもう1つは、巡回車両に使用するガソリン等の燃料です。当社は、これらが与える環境影響をきちんと把握し、少しでも改善していかなければならないと考えております。

この取組みの基本テーマが2003年に掲げた「グリーン・オペレーション」であり、環境負荷低減を目指し、これまで様々な活動を行ってまいりました。昨年度の実施内容の一例として、自動販売機についてはヒートポンプ機能搭載機やゾーン加温、冷却



等の省エネ機導入を実施いたしました。また、車輛については、ルート車輛を中心に933台の低公害車への入替えを実施しました。これらの取組みにより、事業活動に関わる二酸化炭素の排出量は、前年比で5.6%の削減が実現できております。

また、販売後に発生する飲料空容器は、ゴミではなく大切な資源であるため、再資源化にも積極的に取り組んでおります。今年度は容器包装リサイクル法の見直しの年度となっておりますが、当社ではいち早く自社での再資源化に着手し、飲料空容器再資源化工場「リサイクル・プラザJB」を運営しております。2003年に設立し、今年で11年目を迎えました。累計処理量は79,795 t となっており、リサイクルでも皆様にご評価いただいております。

これからも循環型産業の構築のために、ジャパン

ビバレッジグループは積極的に取り組んでまいります。

### お客様にジャパンビバレッジを選んで良かったと言っていただくために

昨年創業55周年を迎え、今年度は自動販売機専門オペレーターNo.1企業として、原点に立ち返り、オペレーション力の向上、顧客満足度の向上を目指します。また、人材育成、体制の強化に、従業員5,400人が最大限の力を発揮して邁進してまいります。末永いご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社ジャパンビバレッジホールディングス

代表取締役社長

酒元潤一

#### 経営理念

私たちは、魅力ある商品と最高のサービスを通じて人々に潤いを提供し、喜びに満ちた空間と出逢いを創造します。

#### モットー

1. 「いちばん」を大切にします。

業界No.1のサービスと業績を目指します。

2. 「もっと」を大切にします。

明日はどうすれば、今日よりもっとよくなるかを考え、行動します。

3. 「ちゃんと」を大切にします。

ちゃんとした管理・サービス・行動により高品質を維持し、信頼と安全をお届けいたします。

4. 「やさしさ」を大切にします。

環境にやさしく、地域社会に歓迎されるよう努力を惜しみません。

5. 「あなた」を大切にします。

喜びの創造に向け、“生き生き”とした魅力ある職場をつくります。

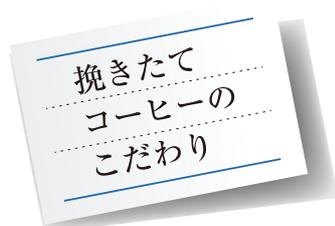
## ジャパンビバレッジグループの事業紹介

ジャパンビバレッジグループは、業界No.1の自動販売機専門オペレーターとして、環境に配慮した様々なサービスをお客様にお届けしています。

### 「カップ自動販売機事業」

## 本格コーヒーをお手軽にお届けします

本格レギュラーコーヒーをはじめとしたパラエティーに富んだ商品を取りそろえ、きめ細やかなオペレーション体制により最高品質の味をご提供しています。



### 「パッケージ自動販売機事業」

## お客様のニーズに合った豊富な品ぞろえをご提供します

パッケージ事業は、缶、ペットボトル、紙パック、ヌードル、その他食品、お菓子等、製品化された商品を扱っています。お客様のニーズに合った魅力ある商品を通じて潤いの場をご提供しています。



## 「リテール事業」

# オフィスの環境づくりに貢献します

当社の給茶機は、環境にやさしく消費電力量は従来の給茶機よりも約55%削減（当社機比）を実現！給茶機用商品は茶殻の出ない風味豊かなパウダータイプ。オフィスと地球の環境を考えた次世代型マルチドリンクサーバーです。



合言葉は、  
省エネ・省資源・  
省スペース！

## ジャパンビバレッジグループのグリーン・オペレーション

提案 販売 回収 適正処理 資源再生 をトータルでコーディネートしています。

お客様のニーズにあわせた各種自動販売機をご提案します。

01  
提案・販売

オペレーションに使用する車輛は、低公害車・ハイブリッド車を計画的に導入しています。



03  
適正処理  
資源再生

回収した飲料空容器は、「リサイクル・プラザJB」をはじめ、全国のネットワーク企業でリサイクルを実施しています。



02  
回収

自動販売機の横に設置している「回収ボックス」の中の飲料空容器をきちんと回収し、営業拠点に持ち帰ります。

# ジャパンビバレッジの 省エネは、「人」が支えます

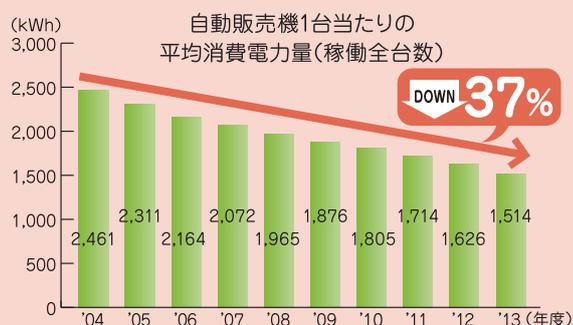
ジャパンビバレッジグループの重要課題—それは、自動販売機稼働中の電力消費と  
車輛利用による燃料消費です。その環境影響をできる限り低減させるために、  
ジャパンビバレッジグループでは、さまざまな取組みを行っています。

## 自動販売機による取組み

### お客様先での省エネを実現

自動販売機は、ヒートポンプ機の普及や小型化により省エネ  
化が進み、機械自体の消費電力量は10年前に比べて37%も  
減少しています。

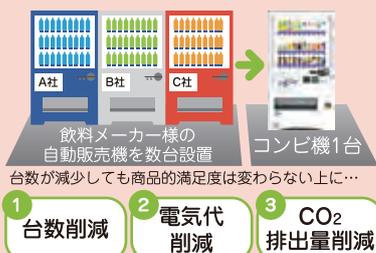
自動販売機本体の省エネとあわせ、ジャパンビバレッジ  
グループでは省エネに取組むお客様の要望に応じて、様々な  
提案をしています。



### 提案の一例

#### 自販機設置の最適化

複数台数を、各メーカーの商品をライン  
ナップしたコンビ機に集約、省スペース  
にもなります。



#### ピークカット対応

夏季の電力消費ピーク時間帯に冷却運  
転を停止し、この間の消費電力をカット  
します。



#### 深夜停止機能

夜間の販売量が少ない場所では、深夜に  
蛍光灯と冷却装置を自動でストップし  
ます。



### 営業担当者の声

#### すべての自動販売機の消費電力量を把握しています

営業活動中、お客様から最も多い要望が節電です。そこで私は、すべての自動  
販売機の消費電力量を調べ、再配置や省エネ機への交換等をお客様に提案して  
います。改善策をわかりやすく説明することで、お客様に興味を持っていた  
だけ、また信頼を得ています。交渉の中では、ジャパンビバレッジ  
グループの環境への取組みを前面に出し、お客様の環境側面のお  
手伝いができればという思いで日々営業活動を行っております。



株式会社ジャパンビバレッジイースト 西関東第一営業開発部 営業係長 高橋 菊男

## 車輛による取組み

### ハイブリッド車の導入

これまで、ハイブリッド車の導入は主に乗用車を対象に行ってきましたが、トラックについても積極的に導入を開始しました。昨年度は、21台の導入を実施しました。



ハイブリッド車

### 車格の変更

ルートセールスが使用するトラックの車格を、2.95t積車から2t積車へ変更を行っています。ボディが小さくなり、小回りがきくので運転がしやすくなりました。また車輪燃費についても、8%の改善メリットがあります。(カタログ値)



2.95t  
トラック

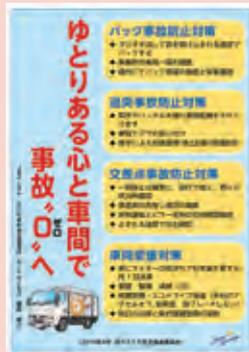


2t  
トラック

車格を小さく、かつ燃費改善

### 安全運転教育

外部講師による安全運転教育の実施、および各社別に安全推進委員会を設置し、事故の撲滅に取り組んでいます。



安全運転スローガンポスター



安全運転実技研修

#### 車輛管理担当者の声

#### 車輛の環境負荷低減をハード面から支えていきます

総務部では、ジャパンビバレッジグループの車輛管理業務を担当しています。グループ全体の車輛保有台数は年々、増加傾向にある状況ですので車輛調達の際、次の点に留意し車輛の環境負荷の低減に繋がる取組みをハード面から支えていきます。

- 低燃費車輛の採用
- ハイブリッド車の展開
- 車輛の小型化
- 安全性の向上



株式会社ジャパンビバレッジホールディングス 総務部 係長 小川 昇

編集方針

ジャパンビバレッジグループの概要

トップメッセージ

ジャパンビバレッジグループの事業紹介

Highlight 1

Highlight 2

Highlight 3

Highlight 4

Highlight 5

環境マネジメント&パートナーシップ

第三者意見

# 再資源化の「先」を 考えています

ジャパンビバレッジグループは、全国180社とつながる「リサイクルネットワーク」を構築し、飲料空容器の効率的な資源循環を実施しています。

## 回収物のゆくえ

ジャパンビバレッジグループは、自社で運営する飲料空容器再資源化工場「リサイクル・プラザJB」を中核施設とし、全国約180社のリサイクル企業、適正処理企業で構成する「リサイクルネットワーク」を構築しています。

ジャパンビバレッジグループが回収した飲料空容器、コーヒーかす、その他の付帯用品等は、「リサイクル・プラザJB」と各地域の「リサイクルネットワーク」企業にて資源循環を実施しています。今回、その中の企業3社様を紹介致します。



### CASE 1 ● ジャパンビバレッジウエスト京都主管支店他

#### 缶・ビン・ペットボトルの再資源化

## 「たいせつを、まもる」

(株)大剛様は、「たいせつを、まもる」をコンセプトに事業を行っている安田産業グループの一社で、飲料空容器の中間処理をはじめさまざまなリサイクル事業を展開しています。

ジャパンビバレッジグループから搬入された缶・ビン・ペットボトルは、各容器を選別した後、缶は新缶の材料となる「ペレット」に加工しています。また、ペットボトルは、大学との共同研究により実現した「再商品化事業部成形システム」にてマテリアルリサイクルを

株式会社大剛  
長岡京工場 施設主任  
畑 直孝 様



実施。250℃の熱で再結晶化した後、再度液状化し、各プラスチック製品に加工しています。

今後の事業展開として、「オリジナリティーを出しながら様々な場面で使っていただけるようなものをつくり、リサイクルループを構築していきたい」とのお言葉を頂戴しました。



ペットボトル再結晶化装置



ペットボトルをリサイクルしてつくられた生活雑貨

## CASE 2 ● ジャパンビバレッジイースト武蔵野支店他

紙カップ・紙パックの再資源化

# 「リサイクルと福祉を両立」

(株)宮崎様は、「トータルリサイクル」という考え方のもと、全国の集荷網を活かし、紙類をはじめさまざまな素材の再資源化を行っています。

ジャパンビバレッジグループから搬入した紙カップは、ミックス紙としてプレス加工処理を実施。その後、愛媛パルプ様に処理し、再資源化されています。紙パックは、ストローや異物を分別後、破碎・洗浄を行い、その後、三栄レギュレーター様に運ばれ、トイレトペーパーに再資源化されます。また、福祉団体に古紙回収を依頼することで、障がい者支援を事業活動の中で実施し、羽村市社会福祉協議会から表彰も



紙パックの異物除去、その後破碎・洗浄

株式会社宮崎  
西多摩営業所 工場長  
横田 斉義 様

されました。

最後に、「これからも主力の紙類の回収および取扱い品目を増やし、事業を展開していきたい」とのお言葉を頂戴しました。



破碎・洗浄後の紙パック

## CASE 3 ● ジャパンビバレッジセントラル名古屋東支店他

コーヒーかすの再生利用

# 「生ごみをゼロに」

(株)熊本清掃社様は、熊本での食品リサイクル事業のノウハウを生かし、2007年に名古屋に食品リサイクル施設「バイオプラザなごや」を設立されました。

本施設は、日量100トンの食品残渣を処理。カップ自販機から排出されるコーヒーかすもこれと一緒に処理し、堆肥化しています。運ばれてきた食品残渣は、異物除去後、発酵・分解・熟成を行います。ここでは温度を60~80℃に保つため、夜も温度管理を



バイオプラザなごや全景

株式会社熊本清掃社  
代表取締役社長  
村平 光士郎 様

行っています。その後、乾燥を経て堆肥「グリーンサブリ」が完成します。

また、本施設は「クローズド式」を採用することで、食品残渣特有の臭気や汚水が外に出ないように配慮しています。今後の社長の夢をお伺いしたところ、

「まずは名古屋と熊本で発生する生ごみをゼロにすること、そしてゆくゆくは全国の生ごみをなくしていきたい」と熱く語っていただきました。



製品「グリーンサブリ」

編集方針

ジャパンビバレッジ  
グループの概要

トップメッセージ

ジャパンビバレッジ  
グループの事業紹介

Highlight 1

Highlight 2

Highlight 3

Highlight 4

Highlight 5

環境マネジメント&  
パートナーシップ

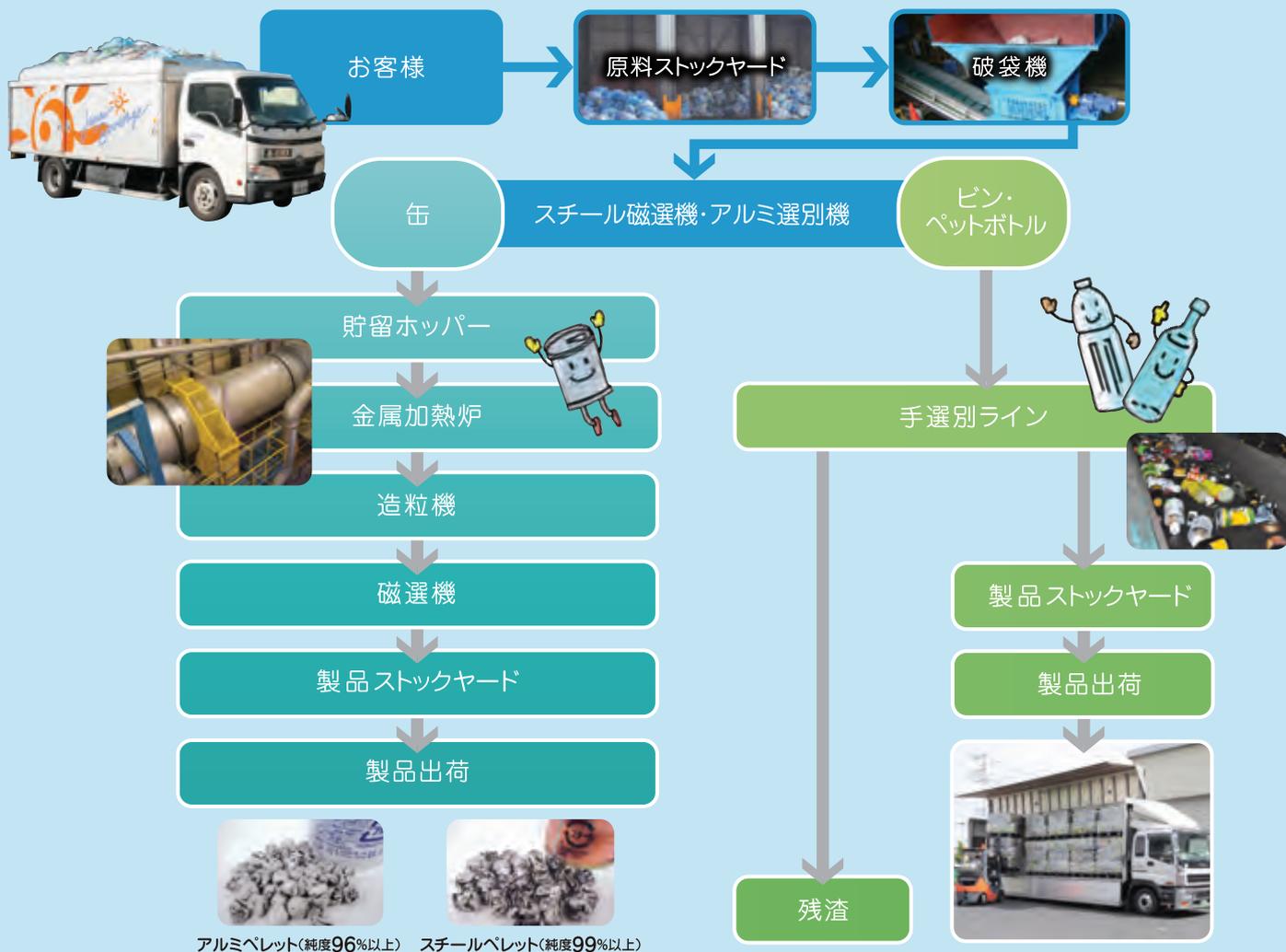
第三者意見

# リサイクル事業を通じて、 気づき、考え、行動する — そんな子どもを育てたい

自動販売機専門オペレーターとして、  
初の取組みとなる飲料空容器再資源化工場「リサイクル・プラザJB」。  
リサイクルだけでなく、次世代を担う子どもたちへの環境教育も積極的に実施しています。

## 飲料空容器再資源化工場「リサイクル・プラザJB」

ジャパンビバレッジグループは、自動販売機で飲料を販売するだけでなく、回収した後の飲料空容器のリサイクルを行い、資源循環の推進を行っています。2003年5月に設立した「リサイクル・プラザJB」には、ジャパンビバレッジグループの東京・埼玉・千葉・群馬にある支店が回収してきた缶・ビン・ペットボトルが毎日運ばれ、リサイクルの中間処理を行っています。その量は1日約30トン。年間では約8千トンのリサイクルを実施しています。



# 子どもたちに環境学習の機会を提供

## 第15回さいたま環境賞受賞

リサイクル・プラザJBの工場見学および小・中学校への出前授業等、これまで継続して取り組んできた環境教育活動が評価され、さいたま環境賞(事業者部門)を受賞しました。本賞は、環境保全に関する意識の醸成および行動の促進を図るため、埼玉県が毎年他の規範となる優れた取り組みを表彰するものです。表彰式は、2014年3月25日に埼玉県知事公館で行われ、上田県知事より表彰状が贈呈されました。



## リサイクル・プラザJB工場見学

小学生から大人まで幅広く見学受入れを行っており、缶・ビン・ペットボトルの資源循環の現場をご覧ください。

現場をぜひ  
ご覧になってください!



## 作文コンクール

毎年、夏休み期間中にリサイクル・プラザJBをご見学いただいた小学生を対象とした「ぼくとわたしのリサイクル作文コンクール」を実施しています。なお、本期間中は土曜日も見学受入れを実施しています。



## 出前授業

小・中学校に出向き、飲料空容器のリサイクルについての授業を行っています。授業では、リサイクルクイズやペットボトルの繊維化実験等も行います。



皆様からの応募を  
お待ちしております!

リサイクルを  
わかりやすく学ぼう!

リサイクル・プラザJB  
見学お問合せ

ホームページ <http://www.jbinc.co.jp/ecology/plaza/>  
TEL 048-652-6671

編集方針

ジャパン・パレージ  
グループの概要

トップメッセージ

ジャパン・パレージ  
グループの事業紹介

Highlight 1

Highlight 2

Highlight 3

Highlight 4

Highlight 5

環境マネジメント&  
パートナーシップ

第三者意見

# 地域に根ざし 地域とともに歩みます

ジャパンビバレッジグループでは、各地域拠点の特性を生かし、環境保全、地域貢献等、積極的に取り組んでいます。

## 株式会社ジャパンビバレッジ沖縄

### 「MESHサポート寄付金」つき自動販売機の展開

MESH(メッシュ)は国内初の民間救急ヘリとして、「救える命を救いたい」という思いのもと、沖縄県北部を拠点に活動しています。活動内容には、患者の救急搬送以外にも、医療機器や血液の搬送、医師を離島に送り届ける等様々な医療対応が含まれます。このような医療とそれを必要とする人々を引き合わせる取組みは、民間救急ヘリだからこそできる活動です。

この活動を応援するため、ジャパンビバレッジ沖縄では「MESHサポート寄付金」つき自動販売機を展開しています。自動販売機の売上の5%が寄付金となる仕組みとなっており、自動販売機の設置先様と共に活動の支援を行っています。



「MESHサポート寄付金」つき自動販売機



NPO法人 メッシュ・サポート 運航セクションリーダー 藤田原野氏とMESHヘリ

### 清掃活動への参加

沖縄県では美しい自然を守るために、行政、NPO、学校、個人の皆様が清掃活動を行っています。

ジャパンビバレッジ沖縄では、清掃活動への飲料の提供、および活動への参加を行っています。皆様とともに美しい沖縄を守るお手伝いをしています。



清掃活動への協力



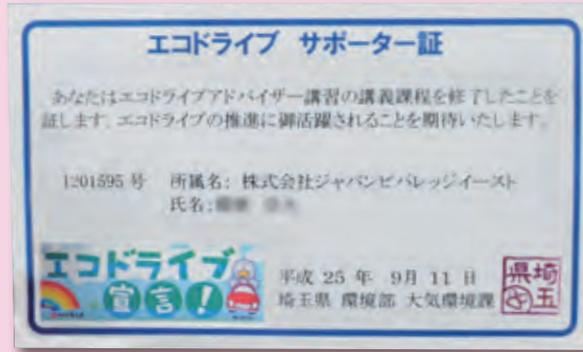
豊崎美らSUNビーチでの清掃活動

## 株式会社ジャパンビバレッジイースト

# エコドライブサポーター証の取得

エコドライブサポーター制度とは、埼玉県や事業者等が実施したエコドライブアドバイザー講習を通じて、地球温暖化防止、燃費向上そして安全運転につながるエコドライブの知識を身につけた人を、埼玉県が「エコドライブサポーター」として認定する制度です。

講習に参加し、テストで優れた成績を収めた受講者が「エコドライブサポーター証」を取得することができます。埼玉県の6支店のうち、215名が講習を受講し、全員証書を取得しました。



新人も取得



さいたま中央主管支店「エコドライブサポーター証」取得者

## 株式会社ジャパンビバレッジエコロジー

# ストップ温暖化SAITAMAフェアに出展

12月の地球温暖化防止月間に埼玉県が開催する「ストップ温暖化SAITAMAフェア」に毎年出展しています。本フェアは、暮らしの足元から地球温暖化防止対策を考える機会とするとともに、こどもエコクラブ等の環境保全活動を広く普及するため開催されています。「リサイクル・プラザJB」による飲料空容器のリサイクルの様子をはじめ、ジャパンビバレッジグループが取り組んでいる環境保全活動をPRしています。



展示ブース

編集方針

ジャパンビバレッジ  
グループの概要

トップメッセージ

ジャパンビバレッジ  
グループの事業紹介

Highlight 1

Highlight 2

Highlight 3

Highlight 4

Highlight 5

環境マネジメントと  
パートナーシップ

第三者意見

# 企業連携ネットワークを大切にします

ジャパンビバレッジグループは、企業連携によるネットワークを構築し、1企業だけでは成し得ない循環型社会の構築を推進します。

## JB環境ネットワーク会とは

大手飲料事業者18社が会員となり、飲料空容器の循環型産業の構築と低炭素社会の実現を目的として発足した任意団体です。環境保全に関する調査研究および環境関連の知識・情報等の普及を図り、あらゆる環境保全活動を推進しています。

## JB環境ネットワーク会 会員企業 18社

(五十音順)

アサヒ飲料株式会社	凸版印刷株式会社
味の素ゼネラルフーズ株式会社	株式会社ドトールコーヒー
大塚食品株式会社	日本たばこ産業株式会社
カゴメ株式会社	ネスレ日本株式会社
キーコーヒー株式会社	ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
キリンビバレッジ株式会社	三井農林株式会社
サントリーフーズ株式会社	株式会社明治
株式会社ジャパンビバレッジホールディングス	UCC上島珈琲株式会社
東罐興業株式会社	和光堂株式会社

[事務局]株式会社ジャパンビバレッジエコロジー

## 環境保全活動への支援

### 沖縄の環境保全活動を積極的にサポート

JB環境ネットワーク会が開催する「沖縄シンポジウム」は、沖縄で環境保全活動に取り組む行政、学校、団体、個人の皆様に参加いただき、活動発表を行っていただいています。また、その際に活動支援もあわせて実施しています。

昨年度は、屋古の蝶の生態観察を行っている大宜味村立塩屋小学校に、観察時に使用するiPad miniを贈呈しました。また、ウミガメの保護・飼育を行っている本部町立瀬底小学校と、沖縄県内全域で清掃活動を行う沖縄クリーンコーストネットワーク(OCCN)に、支援金を贈呈しました。



塩屋小学校 iPad miniを使用した蝶の生態観察の様子



瀬底小学校 ウミガメの卵を観察する様子



OCCN「まるごと沖縄クリーンビーチ」活動の様子

## 環境方針 (一部抜粋)

### 基本理念

ジャパンビバレッジグループは、地球環境が尊い資産であることを認識し社会に貢献する企業であり続けるために、事業及び社員一人一人の行動を通じ、あらゆる面での環境保全を積極的に推進し、潤いと喜びに満ちた持続可能な社会の創造を目指します。

## 環境委員会の実施

2013年度の環境活動の総括を行う環境委員会を2014年3月24日に開催しました。本会では、統括環境管理責任者が2013年度のマネジメント報告を実施し、最後に、酒元社長によるマネジメントレビューが行われました。



環境マネジメント報告書

## ISO14001 定期審査の実施

2013年9月4日～6日に外部認証機関による定期審査を実施し、13部署に審査が入りました。11月13日には、認証継続となりました。



登録証

## 環境研修の実施

環境に関わる力量維持のため、研修を実施しています。環境管理者研修は、環境役職者全員が受講し、一般研修は、全社員が受講しています。

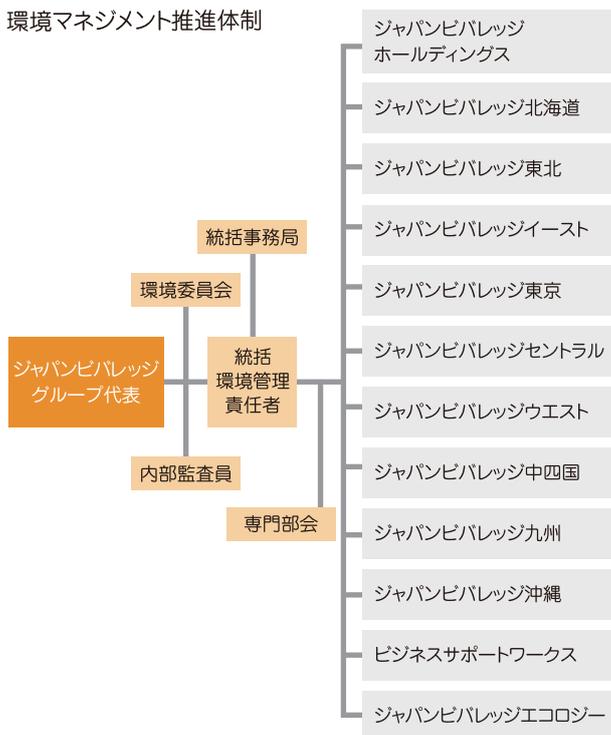


環境管理者研修の様子

## 環境マネジメントシステム

ジャパンビバレッジグループの環境マネジメントシステムを継続的に推進するため、組織、役割および責任を定めています。現在は、グループ12社の本社・支店・営業所の合計119サイトで運用を行っています。

### 環境マネジメント推進体制



※ジェイビーサービス、日新サービスは除く

編集方針  
ジャパンビバレッジグループの概要  
トップメッセージ  
ジャパンビバレッジグループの事業紹介  
Highlight 1  
Highlight 2  
Highlight 3  
Highlight 4  
Highlight 5  
環境マネジメントのバリエーション紹介  
第三者意見

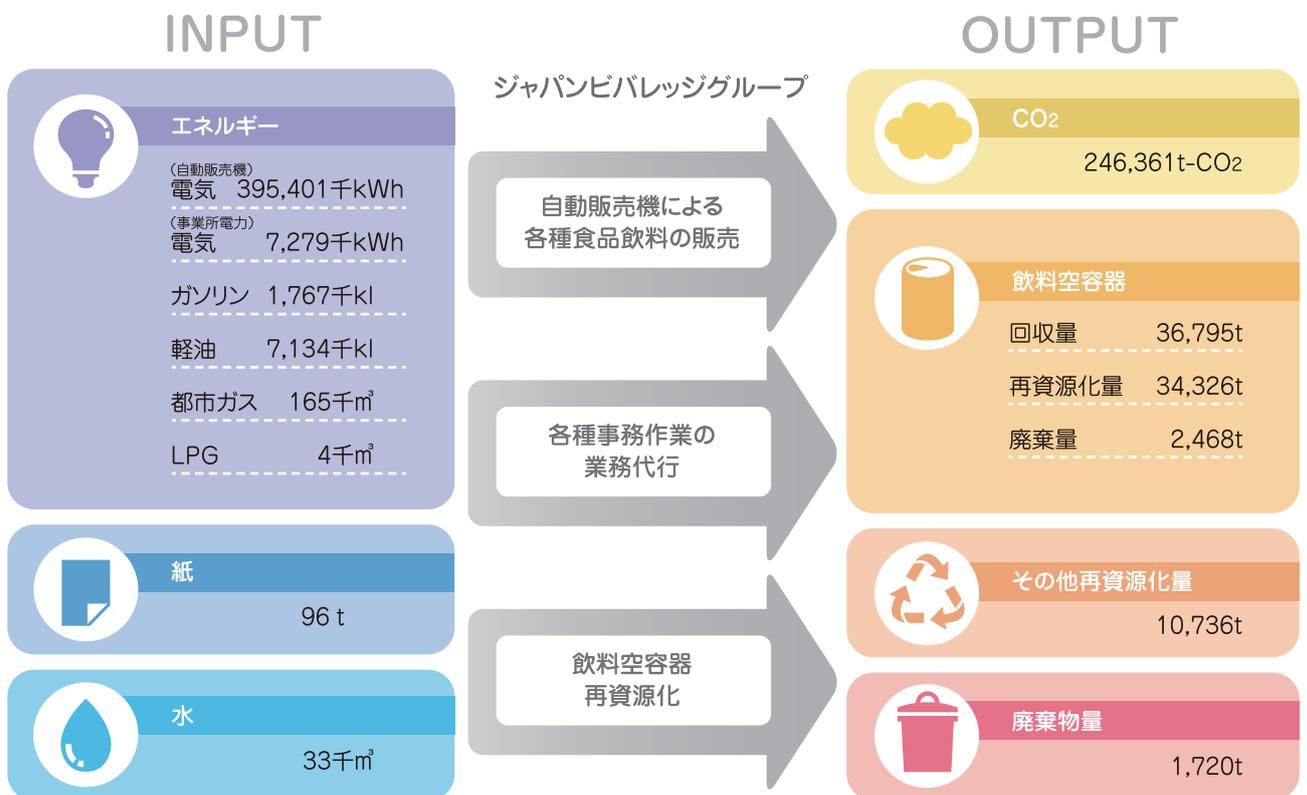
## 環境目標と実績

### エコ指数の改善

エコ指数は、自動販売機、車輛燃料、事業所電力によるCO<sub>2</sub>排出量と売上総利益の数値を使用したジャパンビバレッジグループの独自の数値です。目標値は前年度比1%以上の改善を目指して活動しています。2013年度は、自動販売機は達成しましたが、車輛燃料と事業所電力は未達成となりました。

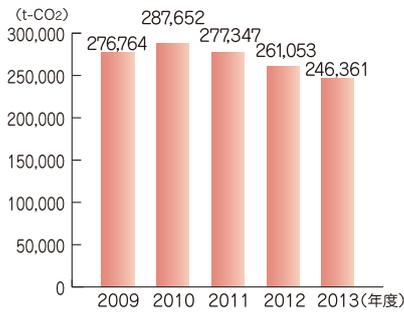
項目	エコ指数	目標値	2012年度 エコ指数	2013年度 目標値	2013年度 エコ指数	達成率	評価
自動販売機の消費電力量	$\frac{\text{自動販売機の消費電力量によるCO}_2\text{排出量 (kg-CO}_2\text{)}}{\text{売上総利益 (千円)}} \times 1,000$	エコ指数前年度比1%改善	4,202.64	4,160.61	4,156.47	目標対比100.1%	○
車輛の燃料 (ガソリン・軽油・LPG)	$\frac{\text{車輛の使用燃料によるCO}_2\text{排出量 (kg-CO}_2\text{)}}{\text{売上総利益 (千円)}} \times 1,000$	エコ指数前年度比1%改善	427.03	422.76	426.42	目標対比99.1%	×
事業所電力使用量	$\frac{\text{事業所の使用電力量によるCO}_2\text{排出量 (kg-CO}_2\text{)}}{\text{売上総利益 (千円)}} \times 1,000$	エコ指数前年度比1%改善	66.65	65.98	76.52	目標対比86.2%	×

## 事業活動における資源投入量と排出量

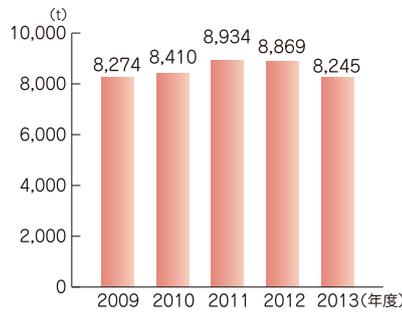


〔二酸化炭素の算出方法について〕「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく換算係数を適用

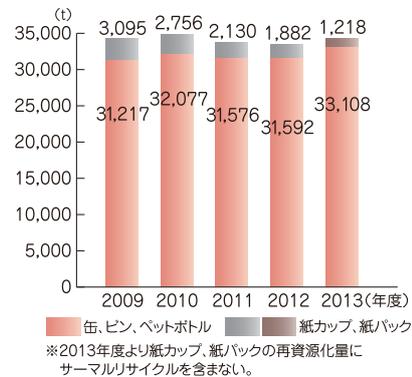
## CO<sub>2</sub>排出量推移



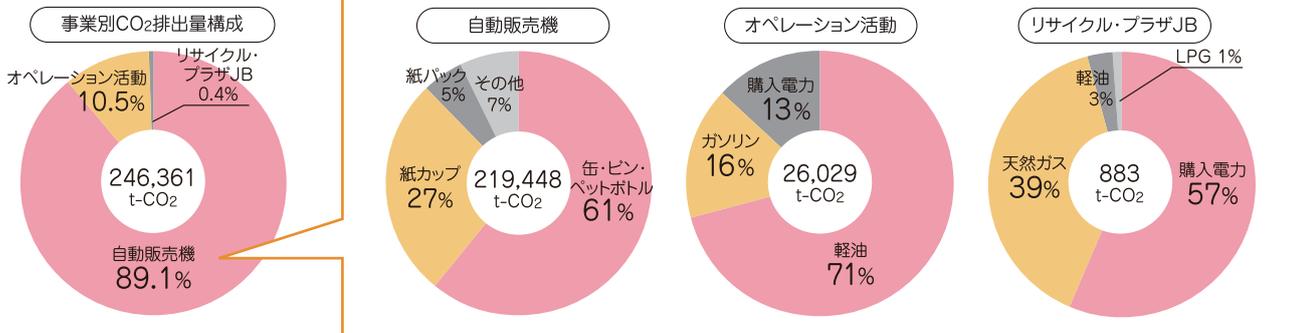
## 再資源化処理量推移 (リサイクル・プラザJB)



## 再資源化処理量推移 (リサイクル・プラザJBを含む)



## 2013年度事業別CO<sub>2</sub>排出量構成比



## 第三者意見



東洋大学 経済学部教授  
松原 聡氏

「ゲリラ豪雨」、「特別警報」……。一昔前にはなかった単語である。「竜巻」も、他国の出来事として聞くだけであった。地球温暖化の影響が、私達の現実の生活の中で強く感じられるようになってきている。

ジャパンビバレッジグループは、自販機の電気使用と巡回車輛のガソリン使用などのグループ内のエネルギー

利用を把握し、その環境への負荷を低減させる取組みを積極的に進めてきている。自販機の省電力化はもちろんのこと、巡回車輛の低公害車の導入、飲料空容器の回収、再資源化などである。

この中で私が特に注目するのが、グループ独自の、CO<sub>2</sub>排出と売上の関係を「エコ指数」として数値化した点である。抽象的になりがちな環境への取組みを、数値化することでその成果が明確になる。実際に目標に達しない数値が出て、それは構わない。それを基準に、さらなる取組みを進めればよい。

日本は、京都議定書で2012年までにCO<sub>2</sub>削減量を1990年比で6%削減することとしていた。しかし、残念ながら東日本大震災の影響による原子力発電の停止などの影響もあり、逆に8.8%の増加となってしまっている。

こういった中でこそ、個別の企業の取組みが強く求められる。ジャパン

ビバレッジグループの「エコ指数」を自ら設定してその改善に取組む姿勢は、そのよいお手本である。グループをあげての環境配慮への総合的な取組みが進み、CO<sub>2</sub>削減の国際公約が果たせない日本の汚名挽回の一助となることを期待したい。

### PROFILE

1954年、東京生まれ。筑波大学大学院修了。1996年より東洋大学教授。経済政策、とりわけ民営化、規制緩和を専門にしなが、朝まで生テレビ、サンデープロジェクトなど、マスコミで積極的に発言。郵政改革(小泉内閣・郵政懇談会委員)などで政府委員を務めてきた。また、郵便事業株式会社取締役、日本公共政策学会会長、日本経済政策学会副会長を歴任してきた。現在、国際公共経済学会事務局長、学会連携・震災対応プロジェクト代表呼びかけ人、(株)シンシア取締役。NPO法人マニフェスト評価機構理事など。主著に「人口減少時代の政策科学」(岩波書店)、「民営化と規制緩和」(日本評論社)など。1991年に国際公共経済学会賞、公益事業学会奨励賞、2005年に尾上賞を受賞。

編集方針  
グループの概要  
ジャパンビバレッジ  
トップメッセージ  
グループの事業紹介  
Highlight 1  
Highlight 2  
Highlight 3  
Highlight 4  
Highlight 5  
環境マネジメント  
パブリックレポート  
第三者意見



## 「Japan Beverage Report 2014」を お読みいただき、ありがとうございました。 皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

本レポートは、ジャパンビバレッジグループの理念と事業の現状、  
および環境の取組みをステークホルダーの皆様にはわかりやすく  
お伝えすることを目的に発行しています。

皆様からご意見、ご感想をいただき、  
活動の内容や本レポートをより良いものにしていきたいと考えております。  
つきましては、お手数ですが裏面のアンケートにご記入の上、  
ファックスにてお送りいただくと幸いです。

2014年9月

本レポートに関するお問い合わせ先

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー

〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町2丁目272番地5

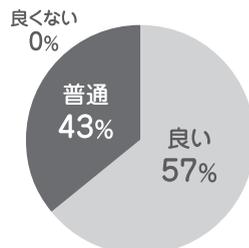
TEL:048-651-1166 FAX:048-651-6611

ホームページ <http://www.jbinc.co.jp>

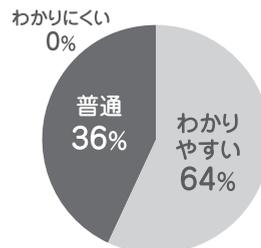
### 「Japan Beverage Report 2013」のアンケート結果



#### 全体評価



#### 内容のわかりやすさ



#### ご意見(一部抜粋)

- ◎古い自動販売機の交換、省エネ機や環境に良いトラックの導入を期待する。
- ◎コーヒーかすの活用を知りたい。
- ◎リサイクルの取組みについて知りたい。

アンケート結果を受け、  
2014年度版では、  
右記について改善を図りました。

◎「Highlight1」では、ジャパンビバレッジグループを支える従業員を通じた省エネの取組みを報告しました。

◎「Highlight2」では、回収した飲料空容器等について再資源化の取組みを報告しました。

いただいたご意見については、今後も改善を図っていきます。

# 「Japan Beverage Report 2014」へ 皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

Q1

本レポートを読んでどのように感じられましたか？

- 全体評価 ……………  良い  普通  良くない  
内容のわかりやすさ ……………  わかりやすい  普通  わかりにくい

Q2

本レポートのなかで関心のあった内容をお聞かせください(複数選択可)。

- ジャパンビバレッジグループの概要(p2)  
 トップメッセージ(p3-4)  
 ジャパンビバレッジグループの事業紹介(p5-6)

#### Highlight

- Highlight 1 ジャパンビバレッジの省エネは、「人」が支えます (p7-8)  
 Highlight 2 再資源化の「先」を考えています (p9-10)  
 Highlight 3 リサイクル事業を通じて、気づき、考え、行動する——そんな子どもを育てたい (p11-12)  
 Highlight 4 地域に根ざし地域とともに歩みます (p13-14)  
 Highlight 5 企業連携ネットワークを大切にします (p15)  
 環境マネジメント・パフォーマンス報告 (p16-18)  
 第三者意見(p18)

Q3

ジャパンビバレッジグループの取組みについてのご意見・ご感想、良い点や改善すべき点があればお書きください。

Q4

どのようなお立場でお読みになりましたか。

- お客様  近隣住民の方  お取引先  政府・行政関係  教育・研究関係  
 金融・投資関係  NGO・NPO  報道機関  企業のCSR・環境担当者  
 ジャパンビバレッジグループの社員・家族  学生  その他( )

Q5

あなたのプロフィールについてお聞かせください。

- 年齢 ……………  10代  20代  30代  40代  50代  60代  70代以上  
性別 ……………  男性  女性

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー 環境部

FAX:048-651-6611



## ジャパンビバレッジグループ

ホームページ <http://www.jbinc.co.jp>

●発行・お問合わせ先

株式会社ジャパンビバレッジエコロジ

〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町2丁目272番地5

TEL:048-651-1166 FAX:048-651-6611



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを包含した植物油インキと適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙を使用しています。